

私の約束

(神田真秋のマニフェスト)

今を越える

—安心・安全・元気そして飛躍—

平成 18 年 12 月 20 日

目 次

県民の皆様へ ～私の決意～	1
1 県政の目標	2
2 キャッチフレーズ	2
3 県政運営の基本姿勢	3
4 基本政策 – 7つの「政策の柱」と主な政策–	5
政策の柱1 【安 心】 安心できる健康・福祉社会づくり	6
政策の柱2 【安 全】 安全で災害に強い地域づくり	10
政策の柱3 【人づくり】 新しい時代を拓く人づくり	13
政策の柱4 【産 業】 世界をリードする産業中枢づくり	16
政策の柱5 【環 境】 持続可能な循環型社会づくり	19
政策の柱6 【交 流】 多彩な交流が展開される愛知づくり	21
政策の柱7 【地域経営】 分権・協働・行革の県政づくり	25
5 マニフェストを実行するために	28
(参考) 4年間の主な実績	30

県民の皆様へ ～私の決意～

知事に就任して2期8年、私、神田真秋は、この愛知の発展のために全力で取り組んでまいりました。

これまで、私は、世紀の二大事業である愛知万博と中部国際空港の実現が必ずや世界に向けて愛知を大きく飛躍させるとの確固たる展望と強い信念を持って、この二大事業の実現とかつてない財政危機の克服の両立に、身命を賭して果敢に取り組んでまいりました。

お蔭様で、県民各界各層のご努力、ご支援のもと、二大事業はいずれも大きな成果を収めることができ、また、本年度は全国の道府県の中で唯一の地方交付税の不交付団体となるなど、愛知の総合力は一段と増し、県政のより高いレベルへの新たなスタートラインに立ったところです。

今、私たちは、時代の大きな転換点に立っております。

こうした中で、本年3月末に、これからの愛知の方向性を明らかにする地域づくりの羅針盤として、「新しい政策の指針」を策定いたしました。

現在、この指針に基づいて、地域づくりを進めておりますが、まだ緒に就いたばかりです。今後、指針に掲げた政策をさらに具体化し、肉付けしながら、愛知のさらなる発展の道筋をしっかりとつけていくことこそ、私の果たすべき大きな使命と責任であると考えております。

こうした考えに立ち、私は、過日、愛知県政のさらなる伸展のために全力を尽くす決意をいたしました。

このたび、私が今後の4年間に実行する主な政策を明らかにしたマニフェストを作成いたしました。このマニフェストは、新しい愛知づくりに向けた私の決意の証であり、県民の皆様と私との約束です。私は、このマニフェストの実現に全力を尽くします。

平成18年12月20日

神田真秋

政策の柱4 【産業】 世界をリードする産業中枢づくり

愛知の産業は、今や世界経済の中で大変重要な一角を占めています。産業のグローバル競争が激しくなる中、引き続き世界における産業の中核的な役割を担っていくためには、付加価値を重視した産業展開を進めていく必要があります。

このため、私は、次世代モノづくりの創造・発信拠点となる「**知の拠点**」づくりを進めます。

そして、次代を担う産業の受け皿となる産業用地の開発を進めるとともに、自動車や新エネルギーなどの分野において、環伊勢湾の地域で連携しながら、産業クラスターの形成を図るなど、**次代を担う産業の育成・集積**を進めます。また、**中小企業や商店街の支援**に努めます。

さらに、就労を希望するすべての人が安心・安定して働くことのできる**雇用の安定確保**に努めるとともに、農工連携の推進など明日の愛知の食を支える**農林水産業の強化**を図ります。

《具体的な取組み》

1 モノづくり基盤技術を支える「知の拠点」づくりを進めます。

- モノづくり基盤技術の研究開発などを行う「科学技術交流センター」を、平成22年度までに整備します。また、**世界最先端の研究実験施設である「小型シンクロトロン光利用施設」の整備を、産学と連携してめざします。**

2 次代を担う産業の育成・集積を図ります。

- 高度先端産業立地促進補助金等の優遇施策や、産業立地サポートステーションにおけるワンストップサービスの提供、愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センターと連携した海外派遣などを実施し、国内外の企業誘致を進めます。
- 幹線道路インターチェンジや空港・港湾、高度研究施設の周辺地域など開発効果の高い地域をはじめとして、産業用地の開発を進めます。
- 環伊勢湾地域全体の産業発展をめざして、隣接県の優れた産業拠点などと連携しながら、次世代産業クラスターづくりを進めます。
- 産学行政による共同研究を積極的に展開し、共同研究数の年間1,000件への拡大、大学発ベンチャーの100社までの創設をめざします。
- 宇宙航空研究開発機構の「飛行研究センター」の誘致をめざします。